

リハビリ部の取り組み 理学療法



Team Shida

理学療法士とは

理学療法は、運動療法や徒手療法、物理療法を用いて、失われた身体の機能を回復させる治療方法です。理学療法士は、病気やケガの回復を促し、社会や日常生活に戻るまでを支援する役割を担います。

さらに、生き甲斐やその人らしさをサポートする自立支援、生活支援、健康増進、介護予防などの分野や、教育や研究などさまざまな場面でも活躍しています。

理学療法

基本動作能力の改善を行います。
「起き上がり」「立つ」「歩く」などの基本動作能力の獲得を目指します。

運動療法により、正しい動きの学習と指導を行います。
予防や治療の目的で、筋力と柔軟性、バランス能力の改善を目的に運動療法を行います。

痛みや麻痺の回復に物理療法を行います。
「鎮痛効果」「麻痺の回復」などを目的に、温熱・寒冷・電気治療などの物理療法を行います。



取り組み

病棟での取り組み



入院中に自宅へ試験外出などを行い、生活に沿ったリハビリを行います。また個別のリハビリ以外にも集団体操やレクリエーションなどを提供しています。

在宅分野での取り組み



患者様・利用者様が安心して在宅生活が送れるように、外来リハビリ・デイケア・訪問リハビリなどを提供しています。

装具・福祉用具の助言や選定



提携する義肢装具士と適切な装具の選定や福祉用具業者と様々な福祉用具の選定をします。

スキルアップ勉強会



症例検討を行い、今後のリハビリの方針を検討したり、救急救命などの教育を受け、スキルアップに努めています。

全国学会発表 研究発表



研究や学問にも積極的にチャレンジし、全国の学会などで発表を行い、自己研鑽に努めています。

各種教室 講習会



ご家族や地域住民の方へ介護教室や健康教室を開催し、介護負担の軽減や疾病予防・健康増進に努めています。

リハビリ部の取り組み・理学療法

